

# 平成30年度全国大会 第73回年次学術講演会 実施要領

## 土木学会

実施要領の詳細は、土木学会全国大会委員会ホームページ  
<http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/>  
よりダウンロードしてください。

実施期日——2018年8月29日(水)、30日(木)、31日(金)の3日間

実施場所——北海道大学札幌キャンパス

講演申込期間——2018年3月1日(木)12時から4月2日(月)17時まで

※ 2月28日(水)までに入会手続きが完了していない場合は、講演申込できません。

※ 会費を滞納している方は講演申込できません。

実施要領(詳細版)は、土木学会全国大会委員会ホームページよりダウンロードし、熟読のうえ、申し込んでください。

- 今年度も講演申込確認期間での論文ファイルの差替えができるようにしております。ただし、登壇者の変更はできませんのでご注意ください。
- 講演時間は今年度は従来7分間とします。
- 講演者・聴講者にはご登録のメールアドレスにて大会運営アンケートのお願いをいたします。
- 当日大会に参加される講演者および聴講者の全員から登録参加料をいただきます。
- 講演申込みは、インターネット上からの電子受付のみです。
- 講演概要集についてWebダウンロード形式を選択された方は、ウェブサイトより参加証をダウンロードし全国大会当日ご持参下さい。ネームケースは当日受付にて配布します。
- 投稿原稿はPDFファイル形式で受け付けます。A4判タテ型2頁を厳守ください。
- 聴講参加者は登録参加申込みが必要です。
- 土木学会のCPD(継続教育)対象プログラムです。
- 参加者はCPD単位を取得できますので「会員証磁気カード」をご持参ください。
- 最新情報は、<http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/> をご覧下さい。
- 一時保育サービス(講演者、聴講者用)を実施します。
- 北海道支部では、宿泊の斡旋を行いませんので、ご注意ください。
- 和文概要は、社会に対する役割を踏まえて、研究の目的、要旨(特色)、結論を300字以内で簡明に記述して下さい。また、英文タイトルも必ず記入して下さい。

## 目次

日程一覧	ii	1. 年次学術講演会の概要	iii
講演者・聴講者の資格と登録参加料	ii	2. 講演の申込みをされる方	iv
問合せ先一覧	ii	3. 講演はせず聴講のみで参加される方	v

以下は全国大会委員会ホームページ掲載の実施要領(詳細版)をダウンロードし、ご確認下さい。

• 部門別セッション名 • 共通セッション名 • 講演申込要領(電子申込み) • 講演原稿執筆要領

## ● 日程一覧

(年次は西暦 2018 年)

月	講演者	聴講のみの参加者
3	講演申込みの受付開始： 3月1日(木)12時よりインターネット上で受付開始 ※非会員の方は2月28日(水)までに入会手続きを完了して下さい。	
4	講演申込みの締切： 4月2日(月)17時 ※受付番号を必ず控えてください。 講演申込みの確認： 4月3日(火)13時～6日(金)17時 講演登録料の支払い： コンビニ・ゆうちょ支払い：4月30日(月)までに事務局より送付する 払込取扱票にて、コンビニもしくは郵便局(窓口・ATM)にてお支払い 下さい。 クレジットカード支払い： 4月30日(月)までに講演プログラムWEB版申込画面より、クレジットカード 支払い手続きを行ってください。お手元にご利用になられるク レジットカードをご用意の上、画面上に表示される決済画面に従い 手続きを進めてください。	
6	ホームページ <a href="http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/">http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/</a> において年次学術講演会プログラム等の掲載(6月下旬)	
7	学会誌7月号において大会案内(概要版)の掲載 事前登録参加申込みの締切：6月11日(月)～7月27日(金)	
8	参加証・DVD版講演概要集の送付、WEBからダウンロード開始(予定)：8月中旬 全国大会開催：8月29日(水)、30日(木)、31日(金)	

## ● 講演者・聴講者の資格と登録参加料

(年次は西暦 2018 年)

資格	講演者	聴講者				
		事前登録 (6月11日(月)～7月27日(金)迄受付)		大会当日登録		
	土木学会会員・および海外の協定学協会会員に限る <sup>※1</sup>	会員(個人)	非会員	会員(個人)	非会員	
登録参加料	一般	10,000円 <sup>※2</sup>	10,000円 <sup>※3</sup>	20,000円 <sup>※4</sup>	12,000円 <sup>※3.5</sup>	20,000円 <sup>※4</sup>
	学生	7,000円 <sup>※2</sup>	7,000円 <sup>※3</sup>	10,000円 <sup>※4</sup>	8,400円 <sup>※3.5</sup>	10,000円 <sup>※4</sup>

- ※1 2018年2月28日(水)までに下記入会手続きを完了していれば、講演申込みが出来ます。それまでにご入会ください。(インターネット入会申込受付サービスをご利用下さい<http://www.jsce.or.jp/member/>)  
講演申込及び聴講申込締切間際には事務処理の混雑が予想されますので、十分な余裕をもって入会諸手続きをとられるようお願いいたします。学生で大会開催までに卒業予定の方の登録参加料は、申込み時点での資格となります。

### 入会手続き

- インターネット入会の場合：①インターネット入会手続き、②会費納入(郵便振替用紙の通信欄に、受付番号を必ず記載してご送金下さい。)
- 紙面による入会申込み：
  - 郵送の場合：①入会申込書、②会費(郵便振替の払込票兼受領証のコピー)を同封する。
  - 学会へ持参の場合：①入会申込用紙、②会費(現金)

【注】郵便振替は、入金確認ができるまでに数日を要します。十分に余裕をもって送金手続きをお願いします。

- ※2 講演者の登録参加料には講演申込料、参加費、DVD版講演概要集代(WEBの場合も同様)が含まれています。  
 ※3 聴講者の登録参加料には参加費、DVD版講演概要集代が含まれています。  
 ※4 非会員の登録参加料は割増になります。  
 ※5 事前登録参加申込みの期間(2018年7月27日迄)を過ぎますと、通常(大会当日)の登録参加料を頂戴いたします。

## ● 問合せ先一覧

問合せ内容	担当	FAX	E-mail	住所
講演申込み	土木学会事務局総務課 全国大会係	03-5379-0125	office2@jsce.or.jp	〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内
入会手続き・会員番号	土木学会事務局 会員・企画課	03-5379-2769	member@jsce.or.jp	

## 1 年次学術講演会の概要

(1) 実施期日—2018年8月29日(水), 30日(木), 31日(金)の3日間

(2) 実施場所—北海道大学札幌キャンパス

(3) 講演部門

講演部門は次の7部門および共通セッションからなります。

各部門と共通セッションの具体的なセッション名は、土木学会全国大会委員会ホームページ<http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/>掲載の実施要領(詳細版)をご覧ください。

※平成24年度よりIV部門の[鉄道工学]を廃止し、IV部門の[交通工学]に「鉄道計画」を新設致しました。これに伴い、VI部門の[施工(技術)], [維持・管理]に各々「鉄道」と「軌道保守」を新設致しました。これまでのIV部門[鉄道工学]に投稿されていた方は、ご留意の上、論文の内容に応じた部門及びセッションに投稿されますよう、お願い致します。

共通セッション—

下記の第I～VII部門の枠を越えた複数の部門に関連する研究のテーマを対象として、共通セッションを設けます。今年度の共通セッションのテーマは、公募によるテーマから以下に示す19件が仮テーマとして選定されました。共通セッションの最終的なテーマ名は講演申込み完了後に決定されます。

- CS 1 土木教育一般
- CS 2 International Session (国際セッション)
- CS 3 新設および大規模改修時における橋梁計画
- CS 4 ダイバーシティ&インクルージョン
- CS 5 計算力学
- CS 6 複合構造物
- CS 7 放射性廃棄物の処分技術
- CS 8 道路橋床版の点検診断と長寿命化技術
- CS 9 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性
- CS 10 土木分野におけるIoT/AIのあり方
- CS 11 気候変動による影響への適応
- CS 12 地盤震動(観測), 地盤震動(解析), 地盤液状化, 地震応答解析, 強震動予測, 地震防災
- CS 13 土木分野における資料・映像記録の収集、保存と利活用
- CS 14 土木遺産にみる積雪寒冷地の開発技術
- CS 15 原子力施設に係わる土木技術
- CS 16 災害と歴史
- CS 17 インフラ・ヘリテージ・ツーリズム
- CS 18 戦後土木施設の歴史・文化的価値評価
- CS 19 地下空間の多角的利用

第I部門—応用力学, 構造工学, 鋼構造, 地震工学, 耐震構造, 風工学, 等

第II部門—水理学, 水文学, 河川工学, 水資源工学, 港湾工学, 海岸工学, 海洋工学, 環境水理, 等

第III部門—土質力学, 基礎工学, 岩盤工学, 土土地質, 地盤環境工学, 等(主な論点が地盤工学に関するものであること)

第IV部門—土木計画, 地域都市計画, 国土計画, 交通計画, 交通工学, 景観・デザイン, 土木史, 測量, 等

第V部門—土木材料, 舗装工学, コンクリート工学, コンクリート構造, 木材工学, 等

第VI部門—建設事業計画, 設計技術, 積算・契約・労務・調達, 施工技術, 環境影響対応技術, 維持・補修・保全技術, 建設マネジメント, 等(主な論点が建設工事に関するものであること)

第VII部門—環境計画・管理, 環境システム, 用排水システム, 廃棄物, 環境保全, 等

(いずれの部門においてもその部門に関連した地球環境問題を扱う。)

※英語による講演について:平成24年度より「インターナショナルサマースイム」を「国際セッション」として実施しています。「第20回インターナショナルサマースイム」での発表をお考えの場合は国際セッションへご投稿ください。共通セッションの投稿要領にご留意の上、ご投稿をお願い申し上げます。

Presentation in English: International Session will be held as one of the program of 'International Summer Symposium' organized by International Activities Center. If you will make a presentation in English, please submit your paper to International Session of Common Session.

(4) 講演内容

年次学術講演会にふさわしい内容を備えたものとし、原則として未発表のものとしします。

(5) 講演時間

今大会の1題あたりの講演時間について、質疑時間を除き原則として従来の7分間とします。その他のセッションの運営については座長の指示に従ってください。

(6) 講演方法

各部門とも個人発表のみとします。一般発表では、聴講者が発表自体に注意を集中できるように配慮してください。

液晶プロジェクター使用による発表を2004年度から全部門で実施しています。詳しくは、学会誌7月号とホームページでお知らせ致します。

(7) 講演申込題数

全部門を通じて講演者(登壇者)1人につき1題に限りです。

(ただし、共通セッション「土木教育一般」へ講演申込する場合は、研究関連セッションと合わせて2題のお申込が可能です。)

(8) 優秀講演者表彰について

例年通り、優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰いたします。詳細は学会誌7月号の全国大会案内に掲載いたします。

(9) その他

英語による講演も歓迎します。英文講演概要は、和文執筆要領に準じて作成してください。なお、ポスターセッションは、本年度も休止とさせていただきます。

(10) 講演資格

講演できるのは、土木学会会員もしくは海外の協定31学協会会員に限りです。

海外の協定31学協会(略称アルファベット順)

1. ASCE (米国土木学会)
2. CCES (中国土木工程学会)
3. CICHE (中国土木水利工程学会)
4. CNISF (フランス科学・技術者会議)
5. CSCE (カナダ土木学会)
6. EA (オーストラリア工学会)
7. ECCE (ヨーロッパ土木技術者評議会)
8. EIT (タイ工学会)
9. FECIC (メキシコ土木学会)
10. HAKI (インドネシア土木構造工学会)
11. HKIE (香港工師学会)
12. ICE (英国土木学会)
13. IEB (バングラデシュ工学会)
14. IEI (インド工学会)
15. IEM (マレーシア工学会)
16. IEP (パキスタン工学会)
17. IES (シンガポール工学会)
18. KDPA (韓国防災協会)
19. KSCE (大韓土木学会)
20. MACE (モンゴル土木学会)
21. MES (ミャンマー工学会)
22. MPWT,JICA,ITC (カンボジア公共事業運輸省,国際協力機構,カンボジア工科大学)
23. NEA (ネパール技術者協会)
24. PICE (フィリピン土木学会)
25. PII (インドネシア工学会)
26. SVR (スウェーデン土木構造工学会)
27. TCCE (トルコ土木学会)

28. TCG (ギリシャ工学会)  
 29. VASECT (ベトナム構造建設技術協会)  
 30. VFCEA (ベトナム土木協会)  
 31. VIBRA (ベトナム橋梁道路協会)

## (II) 講演概要集

講演概要集の配布方法は、DVD 郵送形式と WEBからのダウンロード形式があります。講演・聴講申込時にご希望の形式を選択してください。ご希望の形式を選択されない場合はWEBからのダウンロード形式となります。

## 2 講演の申込みをされる方 (講演者)

### (1) 講演申込みの資格

講演申込みができるのは、申込時点で個人の土木学会の会員に限ります。非会員の方は、2018年2月28日(水)までに土木学会入会手続きを完了してください。

電子投稿の際、土木学会会員番号や生年月日等の入力が必要となります。

協定学協会会員の電子申込は、記載内容が異なるため、下記の全国大会委員会係へお問合せご連絡ください。

### (2) 講演の申込み (2004年度より、講演の申込みはインターネット上からの電子受付のみになりました。)

2018年3月1日(木)12時～4月2日(月)17時までの期間内に、土木学会全国大会委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/> から講演申込と講演原稿投稿を同時に行ってください。具体的な方法は土木学会全国大会委員会ホームページ掲載の実施要領(詳細版)「講演申込要領」をご覧ください。

講演申込みはインターネット上からPDF形式ファイルのみで受付けます。フロッピーディスク等の郵送、原稿持参による受付は致しませんのでご注意ください。

講演申込みをした講演原稿が正しく転送されているかどうかの確認期間を2018年4月3日(火)13時～6日(金)17時まで設けます。講演申込み者自身で必ず土木学会全国大会委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/> から確認してください。

原稿は土木学会全国大会委員会ホームページ掲載の実施要領(詳細版)「講演原稿執筆要領」に従ってご執筆ください。

講演申込みが完了された方には、8月上旬に講演用の参加証およびDVD版講演概要集(希望者のみ)をお送りします。この時期に確実に届く住所を登録してください。WEB版の概要集を希望された方には、8月中旬にダウンロードに必要なIDとPWをご登録のE-mailアドレスに送付いたします。

申込み期間締切りに際して投稿が集中しますと、予期せぬ事態によりサーバーがダウンし受付ができなくなる恐れがあります。締切りに際しての投稿は極力避けて頂くようお願いいたします。

### (3) 講演者の登録参加料

登録参加料は講演1件につき(講演申込料、参加費、DVD版又

WEB上での概要集の閲覧期間は、2019年2月28日(木)までです。講演概要集についてはウェブサイトにて一括ダウンロードすることができます。

なお、登録参加証は、DVDの概要集を希望された方にはDVD発送時にネームケースと共に同封いたします。ダウンロード形式の概要集を希望された方は、ウェブサイトより参加証をダウンロードして印刷し、全国大会当日に持参してください。ネームケースは、当日受付で配布いたします。

はWEBダウンロード形式講演概要集代含む)として、10,000円(学生7,000円)になります。

コンビニ・ゆうちょ支払いは4月30日(月)までに事務局より送付する払込取扱票にて、コンビニもしくは郵便局(窓口・ATM)にてお支払い下さい。

※払込取扱票の発送についてはSMBCファイナンスサービス株式会社に委託しております。

クレジットカード支払いは、4月30日(月)までに講演プログラムWEB版申込画面より、クレジットカード支払い手続きを行ってください。お手元にご利用になられるクレジットカードをご用意の上、画面上に表示される決済画面に従い手続きを進めてください。

※SMBCファイナンスサービス株式会社が提供する決済システムを利用しております。

事務局にて入金確認後、講演申込みの完了とさせていただきます。

なお、原則登録参加料は前払いとなります。申込後に発表を取り消した場合でも、返金しません。

また、後払いの手続きは行いませんのでご了承の程お願いいたします。

### (4) 採否

採否については、全国大会委員会にご一任ください。

所定期間までに原稿提出のないもの、登録参加料納付のないもの、電子受付で講演原稿執筆要領に準じていないもの、および期限後の電子投稿のものはDVD掲載及び大会での発表はできません。

### (5) 著作財産権の譲渡について

著作財産権は投稿により土木学会へ譲渡に同意したものととなります。

### (6) プログラム編成について

講演者の希望する部門とセッションを参考にしますが、プログラム編成は全国大会委員会に一任ください。また、プログラムに対する意義申し立ては、認めません。

### 3 講演はせず聴講のみで参加される方(聴講者)

年次学術講演会の聴講のみを希望される方は(連名者含む)、2018年6月11日(月)～7月27日(金)までに登録参加(聴講)申込みの手続きを済ませてください。講演者は、改めて申し込み手続きをされる必要はありません。

講演プログラム等の詳細につきましては、2017年6月下旬に土木学会ホームページへ公表、また、土木学会誌7月号(概要のみ)において公表しますのでご参照ください。

#### (1) 聴講のための登録参加申込みの資格

聴講のための登録参加申込みができるのは、個人の土木学会会員、非会員いずれも可能です。ただし、登録参加料が異なります。詳細は「(2) 聴講者の登録参加料」に記載します。非会員の方はこれを機会に学会への入会をお勧めします。

#### (2) 聴講者の登録参加料

聴講者の登録参加料(参加費、DVD版又はWEBダウンロード形式講演概要集を含む)は、個人の土木学会の会員、非会員の別、および事前申込期間内の受付、当日の受付の別によって、料金が異なります。下表をご覧ください。

		聴講者の登録参加申込時期	
		事前登録 (2018/6/11～7/27)	大会当日登録
会員	一般	10,000円	12,000円
	学生	7,000円	8,400円
非会員	一般	20,000円	20,000円
	学生	10,000円	10,000円

#### (3) 聴講者の登録参加申込み方法

1. 登録参加申込期間7月27日(金)までに登録参加申込書(7ページ)をFAX、郵送(当日消印有効)または持参してください。

FAXの場合、送信票(表紙)はつけないで発信してください。郵送の場合、封筒に、登録参加申込書と朱書きしてください。事前登録参加申込の期間を過ぎますと、大会当日登録のみとなります。

2. 登録参加料は、郵便局備付の郵便振替用紙を使用して7月27日(金)までに下記口座にお支払いください。また、入金確認のため、登録参加料欄に払込票兼受領書の縮小コピーを添付してください。事務局にて入金を確認した後、8月中旬に参加証およびDVD版講演概要集(希望者のみ)をお送りします。WEB版の概要集を希望された方には、8月中旬にダウンロードに必要なIDとPWをご登録のE-mailアドレスに送付いたします。なお、登録参加料は振込み後の返金はできません。

年次学術講演会 郵便振替口座：  
口座番号：00180-8-16210  
口座名：公益社団法人土木学会全国大会

3. 参加証およびDVD版講演概要集(希望者のみ)は郵送いたしますので、送付先は郵便番号から正確にご記入ください。送付先が勤務地の場合は、勤務先名称を必ずご記入ください。なお、複数人でお申込の場合は、参加証送付先記入欄に記入してある方にまとめてお送りいたします。
4. 滞りなく速やかに登録処理を行うため、記入漏れがないよう今一度ご確認の上お送りください。

申込先(郵送の場合)：  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内  
(公社)土木学会 全国大会係  
FAX：03-5379-0125



## ● 共通セッションテーマ

今年度学術講演会では7部門に分かれたセッションを設けます。さらに、これらの7部門を越えた研究および複数の部門に関連する研究のテーマを対象として、共通セッションを設けます。

今年度の共通セッションには、後掲の19件が仮テーマとして選定されました。共通セッションにおける講演を希望される方は、電子申込みの際に第一志望欄に、希望するセッション名を選択してください。

また、仮テーマが成立しない場合のために、第2、第3志望欄に一般セッションの部門・名称を必ず選択して下さい。

共通セッションの最終的なテーマ名および構成は、講演申込み完了後、全国大会委員会で決定されます。申込み状況により、共通セッションを構成するに不十分なテーマについては、従来どおり各部門における発表とします。

なお、共通セッションの講演概要もDVD版講演概要集に掲載されます。

### CS1 土木教育一般

土木の分野においては、土木教育全般にかかわる課題に加えて、JABEE、継続教育、技術者倫理教育、技術者資格など人材育成関係の活動が活発に行われており、教育の重要性が広く認識されている。本セッションでは、これらの教育活動全般にかかわる課題を幅広く募集する。

※CS1 土木教育一般の他に研究関連セッションへの投稿もお考えの場合は、事務局全国大会係へお問い合わせください。

### CS2 International Session (国際セッション)

国際セッションでは、留学生や日本人学生、若手技術者の英語による発表を広く募集いたします。英語による発表をお考えでしたら国際セッションへの投稿をお願いします。国際セッションは、「インターナショナルサマージョイント」として実施します。

このほか「国際」という切り口による土木技術ならびに土木技術者に関する様々な視点、立場、考え方からの発表も歓迎します。

\*発表言語：英語

### CS3 新設および大規模改修時における橋梁計画

橋梁の新設や大規模な改修を計画するに当たっては、本体の構造設計や材料選択のみならず、維持管理や社会的コストを含めた経済性、自然環境や景観への配慮、防災計画における位置づけ、契約方式や計画に対する合意形成等々、分野を超えた様々な要素を勘案した総合的な技術的検討が重要である。過去のプロジェクトを含め「橋梁」を切り口に幅広い議論の場としたい。

### CS4 ダイバーシティ&インクルージョン

土木界における人材の多様性の推進については、産官による行

動計画や土木学会による行動宣言が発表され、今後、さまざまな業種での取り組みが急速に進むものと期待される。発生する課題や知見を共有することは、継続的な実行には不可欠である。そこで本セッションでは、土木界におけるダイバーシティ&インクルージョンに関する事例報告、分析、先行研究の紹介等の投稿を募集し、情報の共有と知見の蓄積を行うこととしたい。

### CS5 計算力学

次の各分野における計算技術の発展・展開に関する研究を募集する。(a) FDM, FEM, BEM, メッシュレス法等の解析手法。(b) 高速解法, アルゴリズム, 適応型計算法, モデル生成, 可視化手法, 並列計算, マルチスケール法等の計算力学手法。(c) 破壊問題, 大変形問題, 材料非線形問題, 接触問題, 動的問題, 波動問題, 固体流体連成問題, 乱流, 移動境界問題, 地球環境・気象, 災害・防災のシミュレーション, 騒音問題, 逆問題, 最適化・制御問題等への応用。

### CS6 複合構造物

複合構造は異なる材料の長所を組み合わせ、求められる性能に対して合理的で理想的な構造を実現しようとするものである。中でも、鋼とコンクリートの複合構造は活発に研究され実施例も多く一分野を形成するに至っている。一方、高分子系材料、新素材等、新たな異種材料による複合構造や補修補強工法も種々提案され、一般化されつつある。本セッションでは、これらの異なる材料を対等の視点で捉え、複合構造の適用可能領域を広げるのに役立つ発表と討議の場を提供する。

### CS7 放射性廃棄物の処分技術

高レベル放射性廃棄物については2017年7月に地域の科学的特性が提示されて処分地選定への新たな1歩を踏み出した。低レベルや事故に起因する汚染廃棄物も含め、放射性廃棄物処分は今後も重要な課題である。これらの施設の設計・施工は土木技術に基づく事業であり、その実現に向けた課題は、地盤・地下水の特性評価、コンクリートの特性評価、施設の設計や安全評価など多岐にわたるため、各部門の研究者が議論する場を提供する。

### CS8 道路橋床版の点検診断と長寿命化技術

わが国の道路橋床版では、輪荷重の疲労による損傷に加え、塩害、凍害、中性化、ASRを含めた複合劣化による損傷事例が増えることが予測されている。この床版の維持管理サイクルの方向性として、床版取替えに至る前の点検診断の高度化による損傷の早期把握と、舗装や防水層を含めた新材料や新工法の適用による長寿命化技術により維持管理費を節約することが求められており、他分野からの視点を踏まえてこの分野について検討したい。

## CS9 土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性

土木分野におけるセンサ技術の利用は、施工と維持管理を中心に防災や環境などの分野でも進展している。特に我が国における社会資本の老朽化対策に資する新技術の活用等として「モニタリングシステムの開発」が脚光を浴びている。加えて、衛星測位、画像処理、光ファイバ、MEMS、RFID など各種のセンサの応用が図られ、通信技術と組み合わせたセンサネットワークも展開されつつある。本セッションでは、今後ますます活発化すると予想されるセンサ技術の利用に関して、種々の試みや事例に関する論文を幅広く募集する。

## CS10 土木分野におけるIoT/AIのあり方

近年のICTの急速な発展に伴い、IoT端末で収集したデータから現状を「見える化」し、各種の膨大なデータを多面的に蓄積して「ビッグデータ化」し、これらのデータを人工知能（AI）を活用して分析・予測する、という広義のIoTが提唱され、新たな価値の創出が期待されている。また、オープンデータ化により、これらに官民の様々な情報も融合させて、より有用な情報を創出する試みも行われている。

本セッションでは社会全体のICT化の流れの中で、土木分野におけるIoT/AIのあり方を踏まえた、種々の試みや事例に関する論文を広く募集する。

## CS11 気候変動による影響への適応

気候変動の影響は近年の豪雨や台風などによる災害の増加により顕著化しており防災対策の必要性は疑う余地がないばかりでなく、利水や環境といった側面でも気候変動への適応が急務となっている。昨年に引き続き本セッションは、気候変動をキーワードに、水圏における治水、利水、環境を中心に、我が国の土木分野全体に関連する様々な視点から取り組む影響評価や適応策研究について幅広く議論し、より横断的な研究の推進、連携の活性化、新たなテーマの発掘を目指す。

## CS12 地盤震動（観測）、地盤震動（解析）、地盤液状化、地震応答解析、強震動予測、地震防災

地震工学に関連するこれらのセッションは第I部門において従来開催されてきた。これらのセッションにおける昨今の分野横断的な議論への期待から、第I～VII部門の全国大会参加者が参加しやすいように共通セッションでの開催に移行することとした。

## CS13 土木分野における資料・映像記録の収集、保存と利活用

ICT技術の発展により各種のアーカイブなどが整備、充実しつつある。土木分野においても、土木事業や技術開発、災害調査、工事など様々な記録がデジタル化され、保存されている。本セッションは、これらのデジタルアーカイブや映像記録などの保存、利活用に関する実践や成果を報告することで、今後のあり方や利活用の促進を議

論する場としたい。

## CS14 土木遺産にみる積雪寒冷地の開発技術

北海道の開発は、土木工学技術がなければ達成することができず、また、北海道開発は、わが国の積雪寒冷地における土木工学技術を先導してきたと言える。本セッションは、土木遺産研究の成果をもとに、積雪寒冷地における開発の世界遺産とも言える「北海道の土木」の価値と、今後のあり方や土木遺産の利活用について検討する。

## CS15 原子力施設に係わる土木技術

原子力発電施設では、地震、津波などの様々な自然外力や経年劣化を考慮して、各種土木施設への影響を総合的に評価することが求められる。このセッションでは、活断層、地震、津波、地盤、斜面、断層変位、地中構造物耐震、耐久性、補修、補強、リスクコミュニケーション、外的事象PRA、地域安全、危機耐性などをキーワードとして、分野横断的に幅広く議論する場を提供する。

## CS16 災害と歴史

有史以来、わが国は様々な災害に見舞われてきたが、特に近年は地震や津波をはじめとする大規模災害に直面している。こうした災害からの復旧・復興、あるいは防災に取り組むにあたり、土地の履歴や地域の成り立ちはもとより、災害を乗り越えてきた先達の知恵や技術に学ぶことは少なくない。こうした歴史に学ぶ災害に向き合う姿勢や災害に対する備え、あるいは歴史的土木構造物の保全・修復技術など、災害と歴史について多面的に議論したい。

## CS17 インフラ・ヘリテージ・ツーリズム

近年、新たなツーリズムの枠組みの一つとして、社会基盤施設を観光対象とするインフラ・ツーリズムへの関心が高まっている。一方、遺産ブームを背景として、土木遺産などを観光対象とするヘリテージ・ツーリズムへの関心も高まっている。こうした社会基盤施設を観光対象としたツーリズムの取組みは、まだ緒に就いたばかりであることから、今後の持続可能なツーリズムやまちづくりへの展開に向けた技術や実践を踏まえた課題等について議論したい。

## CS18 戦後土木施設の歴史・文化的価値評価

第二次大戦後約70年を経て、戦後から高度経済成長期に建設された大量の土木施設が更新の時期を迎えている。これらの施設については、生活の質的向上に資する都市空間の高質化に向けて、その歴史・文化的な価値を適切に評価し、継続的な維持管理・保全を可能にする手法を構築する必要がある。本セッションでは、こうした価値評価について、技術的な側面にとどまらず、計画、意匠、材料、工法、社会とのかかわりなど、多面的な側面から議論したい。



## CS19 地下空間の多角的利用

地下空間を有効利用するために、総合的な観点（都市計画、法制、経済性、心理、生理、防災、環境、建設、維持管理、歴史、文学等）から、価値を再認識することが本セッションの目的である。ここでは都

市部に限らず、幅広く地下空間利用の実例について注目し、多角的な利用を推進するための新しい視点・技術の提案、最新の知見を駆使した計画・実例を紹介する。

# ●部門別セッション名

※各部門内のセッション名を整理し区分しました。その結果、セッション名が大きく変更となっている場合がありますのでご注意ください。

なお、従来のI部門の合成構造、V部門の合成・複合構造は共通セッションの複合構造物にご投稿ください。

※平成24年度よりIV部門の[鉄道工学]を廃止し、IV部門の[交通工学]に[鉄道計画]を新設致しました。これに伴い、VI部門の[施工(技術)]、[維持・管理]に各々「鉄道」と「軌道保守」を新設致しました。これまでのIV部門[鉄道工学]に投稿されていた方は、ご留意の上、論文の内容に応じた部門及びセッションに投稿されますよう、お願い致します。

※研究関連セッションの他に、「CS1土木教育一般」への投稿もお考えの場合は、事務局全国大会係へお問い合わせください。

## 第I部門

[応用力学] 固体力学、計算力学(構造)、計算力学(非構造)、計算力学(アルゴリズム)、弾塑性、有限変位、振動、波動、衝撃(解析)、衝撃(実験)、数値解析

[構造工学] 骨組・骨組部材、薄肉構造、板、シェル、橋梁床版、エキスパートシステム、特殊構造、最適設計、安全性・信頼性、維持管理、構造計画、構造景観、構造同定、診断・補修・補強、宇宙構造物

[鋼構造] 座屈・耐荷力(桁)、座屈・耐荷力(柱)、座屈・耐荷力(板)、座屈・耐荷力(その他)、非破壊評価、破壊力学、疲労、溶接、接合、継手、橋梁一般(設計)、橋梁一般(施工)、橋梁一般(測定)、橋梁振動(理論)、橋梁振動(実験・測定)

[地震工学] 震害、断層変位の対策・計画、地震危険度・地震動(震源特性)、リアルタイム地震工学、設計地震動

[耐震構造] ダンパー、振動制御(アクティブ・セミアクティブ)、振動制御(事例報告)、免震構造・デバイス、落橋防止構造、橋梁の耐震、基礎の耐震、ダム・タンクの耐震、トンネルの耐震、都市施設の耐震、地中構造物の耐震、耐震設計法、耐震補強、耐力・変形性能、耐震実験、盛土の耐震

[風工学] 耐風・風工学(数値流体)、耐風・風工学(基礎)、耐風・風工学(応答予測・制御)、耐風・風工学(事例報告・観測)

## 第II部門

[水理学・環境水理等] 流体力学、数値流体力学、乱流、管路の水理、水理構造物、流体力、密度流、氾濫流の水理、河口の水理・水質、水圏の生態系(魚類・底棲生物・植生等)、水圏環境の保全・再生・創造、物質輸送・循環(栄養塩類等)、構造物周辺の流れ・洗掘、植生水理、水理計測・観測手法、河川環境構造物(魚道・人工生息場等)、水系土砂管理

[水文学・水資源] 地球環境問題、自然共生、水災害リスクマネジメント・危機管理、都市の水・熱環境、地球規模の水・エネルギー循環、気候変動・社会変動と水循環、国際的プロジェクト・国際

協力、流況制御、流域管理・計画、都市雨水流出管理・計画、水災害・防災、都市の水災害、国際的水問題、地下水理・地下水文、水工情報システム、水文・水循環計測、水文統計、流出・洪水、水資源計画・管理、大気水象(降水・雲)、大気陸面相互作用

[河川・湖沼・ダム] 河川の水環境(物理学的動態解析)、流砂(土石流、泥流、掃流、砂浮、遊砂、ウオッシュロード、底泥)、河道の水理、土砂の生産・流出、流路・河床形態、流路・河床変動、河川地形、河川工法、河川計画・管理、閉鎖水域環境(湖沼・貯水池における物理学的動態解析)、閉鎖水域の水理(湖沼・貯水池)、ダム堆砂・排砂、開水路・複合水路(複断面・わんど)の水理、拡散・分散

[海洋・港湾・海岸工学] 沿岸域の環境・生態系、沿岸域のアメニティー・人間工学、波動、碎波・遡上、風波・不規則波、高潮・津波・長周期波、海底・海水面境界過程、沿岸域の流れ、波力・流体力・氷力・地震力、波・流れ制御・利用構造物、海岸・海洋・港湾・水産施設、漂砂機構、飛砂・飛沫、海岸地形、漂砂制御、局所洗掘、底泥の挙動、海岸地盤、海岸災害・防災、海岸・海洋の資源・利用、港湾・海岸計画

## 第III部門

[地盤材料・一般] 土の物理化学的性質、砂の変形強度、粘土の変形強度、土の動的性質、土地地質、岩の工学的性質、試験法・調査法、土質安定処理・地盤改良、流動化処理土、特殊土、不飽和土

[地盤の挙動] 地盤の動的挙動、圧縮・圧密、地盤の応力と変形、透水・浸透、現場計測、凍結・凍土、数値解析、地盤の性能評価

[地盤と構造物] 土圧、地圧、支持力、杭、基礎工、トンネル、シールドトンネル、地下空洞と地下構造物、地下利用、掘削、土留め、補強土、締固め、路床・路盤、フィルダム、施工機械、維持・補修

[地盤防災] 斜面、安全性・信頼性、火山工学、都市地盤情報、リスクマネジメント、洗掘・侵食

[地盤環境] 廃棄物、土壌地下水汚染、リサイクル

## 第IV部門

[土木計画] 計画理論, 信頼性・リスク分析, 社会・経済分析評価, プロジェクト評価, 計画情報・情報処理, 施工管理計画, 港湾計画, 空港計画, 物流

[地域都市計画] 都市・地域計画, 都市整備・都市開発, 土地利用計画, 観光・余暇計画, パブリックインボルブメント・住民参加

[国土計画] 資源・エネルギー, 防災計画, 災害分析, 環境計画

[交通計画] 交通調査方法論, 交通発生, 交通分布, 交通手段分担, 交通配分, 交通ネットワーク, 交通アセスメント, 交通需要マネジメント, 交通情報提供, 交通サービス評価, 地区交通, 駐車場・駅前広場, 歩行者・自転車交通, 高齢者・身障者交通, タクシー・STサービスの交通政策・交通システム, 公共交通

[交通工学] 道路工学, 交通流, 交通制御, 交通公害, 交通事故, 鉄道計画

[景観・デザイン] 景観デザイン, 景観調査・分析, 景観認識, 景観評価

[土木史] 土木史

[測量] 測量・リモートセンシング

## 第V部門

[土木材料] リサイクル, 新材料・新工法(材料), 骨材, 混和剤, 混和材, フレッシュコンクリート, 高流動コンクリート, 水中コンクリート, 軽量コンクリート(材料), 吹付けコンクリート, 短繊維補強コンクリート(材料), 連続繊維補強コンクリート(材料), 海洋コンクリート, 特殊コンクリート, 物性, 評価・試験方法, セメント化学, 引張・圧縮, クリープ・収縮, ひび割れ, 温度応力, 製造・施工, 品質管理・検査, ポンプ圧送, 締固め, 維持管理, 劣化予測, 耐久性一般, 耐火性, 複合劣化, 鋼材腐食, 防食, 塩害, 凍害, アルカリシリカ反応, 非破壊試験法, 補修・補強(材料), 耐久性設計, 副産物利用・再生材料, 再生コンクリート, エコ・緑化コンクリート, リニューアル, ライフサイクル(LCC・LCA), サステナビリティ

[舗装工学] 路面評価(舗装), 構造評価(舗装), 構造設計(舗装), 維持・修繕(舗装), リサイクル(舗装), 環境保全(舗装), 舗装材料, 路床・路盤, アスファルト系舗装, セメント系舗装, 特殊舗装, 舗装一般

[コンクリート工学/構造] 新材料・新工法(構造), 軽量コンクリート(構造), 短繊維補強コンクリート(構造), 連続繊維補強コンクリート(構造), プレストレストコンクリート, プレキャストコンクリート, コンクリート製品, 補修・補強(構造), 破壊力学, 曲げ, せん断・ねじり, 耐震, 振動, 耐震補強, 耐震診断, 付着・定着・継手, 疲労・衝撃, 数値解析, 構造設計, 構造物調査・診断

[木材工学] 木材・木質材料, 木材利用, 木材(耐久性)

## 第VI部門

[建設事業計画] 事業計画, 計画技術, 知的情報処理

[設計] 設計概念, 景観設計, 設計技術

[調達/Procurement] 入札・契約, 積算・見積, 資金調達, 技術力評価

[施工(技術)] 施工計画, 施工技術, CIM, 建設ロボット, 自動化システム, 情報化施工, 測量・計測, GPS, GIS, リモートセンシング, 技術開発, 新材料・新素材, 海外工事, 建設環境(リサイクル・土壌浄化・水質浄化・廃棄物), 河川構造物, 港湾・海洋構造物, 空港, 橋梁, 開削トンネル, シールドトンネル, 山岳トンネル, 地下構造物, ダム, 各種基礎, 特殊構造物, 土留め, 地盤改良, 耐震・免震, 鉄道

[施工(管理)] コスト管理, 品質管理, 工程管理, 安全管理, 品質保証

[維持・管理] アセットマネジメント, 検査技術・診断, リニューアル(維持管理・補修・補強・更新), 軌道保守

[建設マネジメント] 建設マネジメント, プロジェクトマネジメント(PM/CM), 公共マネジメント, リスクマネジメント, 合意形成, 公共政策, PFI・PPP, コスト縮減, 組織・人材育成, 建設技術評価, 建設産業・建設市場

## 第VII部門

[環境計画] 環境影響評価, 環境リスク評価・管理, 地域環境計画・管理, 森林・植生, 環境創造・ビオトープ, 水資源・水需給, 国土・都市更新

[環境システム] 環境意識・環境教育, 環境倫理, 環境経済, 循環型社会, ライフサイクルアセスメント(LCA), 都市環境, 熱環境・エネルギー

[用排水システム] 生態工学, 浄水処理, 下水処理, 物理化学処理, 嫌気性処理, 膜分離・処理, 生物膜処理, 栄養塩除去, 上下水道管理, 都市雨水流出管理

[廃棄物] 汚泥処理技術, 廃棄物収集・処理・処分計画, 埋立処分場管理, 循環資源・リサイクル

[土壌・水環境(魚類を除く生物学的・化学的な動態解析と環境改善技術)] 水質モニタリング・解析, 生態系モニタリング・解析, 水質浄化技術, 自然浄化機能, 水環境モデリング, 水辺環境計画・管理, 流域環境計画・管理, 底泥, 遺伝子工学, 毒性評価, 有害物質環境汚染, 内分泌攪乱化学物質, 土壌・地下水汚染(分析修復技術), バイオレメディエーション

[大気環境・騒音振動] 大気モニタリング・解析, 大気浄化技術, 大気環境モデリング, 悪臭, 騒音, 振動, 酸性雨, 温暖化対策

[原子力土木] 活断層, 地震・津波, 地盤・斜面, 断層変位, 地中構造物耐震, 耐久性・補修・補強, リスクコミュニケーション, 外的事象PRA(確率論のリスク評価), 地域安全, 危機耐性

## ● 講演申込要領 (電子申込み)

### ■ 最新情報・変更事項

この要領が発行されて以降の最新情報や変更事項については、以下の土木学会全国大会委員会ホームページ上に掲載します。実際に申し込む前に早めに確認しておいてください。http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/

### ■ 投稿締め切り3日前までの投稿をお勧めします。

締切間際には、かなりの件数の申込みが殺到するものと予想されます。その場合、原稿ファイルを送るのに1時間以上を要したり、ホームページへのアクセス自体が困難になるなどの不都合が生じると考えられます。システムを快適に使用するには、なるべく早めの申込みをお願いします。

### ■ 申込み締切後に確認を行ってください。

申込み締切後に、確認期間を設けます。申込み内容を会員自身で必ずチェックしてください。確認期間は4月3日(火)13:00～4月6日(金)17:00です。

### ■ トラブル発生時の措置

万が一、トラブルが生じた場合の措置については、土木学会ホームページ上に掲載します。その指示にしたがって対応してください。

### ■ 大まかな手順

#### 1. ホームページ上での申込みと投稿

申し込み期間中に、土木学会ホームページ上で申込み書に記入事項を入力し、原稿ファイルを送信する。

#### 2. 申込み・投稿内容の確認

申し込み期間終了後の確認期間中に、申込み内容を自分でチェックする。

#### 3. 登録参加料の支払い

所定の期間内(コンビニ・ゆうちょ支払い・クレジットカード支払い共に4月30日(月)まで)に、お支払い下さい。事務局にて入金確認後、講演申込みの受理とさせていただきます。

#### 1. ホームページ上での申込みと投稿

##### 手順の概要

- (1) 講演者の会員番号と生年月日を入力して認証を受ける。
- (2) 講演者の氏名、所属、その他の項目を入力する。
- (3) その内容を確認し、必要があれば修正する。
- (4) 原稿ファイルを指定して送信する。
- (5) その内容を確認し、必要であれば再投稿する。内容がよければ、申込み・投稿を完了する。

※(5)で「完了」をクリックすると、修正・再投稿はできません。慎重にお願い

します。

※最後の「申込み・投稿完了ページ」には、後日に申込み確認を行う際に必要な情報が表示されます。メモをとるか、プリントアウトするか、ファイルとして保存するかなど、何らかの手段で記録を残してください。

##### 手順の詳細

- (1) 土木学会全国大会委員会ホームページから「大会実施要領」のページにアクセスする。URLアドレスは下記の通りです。http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/
- (2) ここで「電子申込のページ」をクリックし、さらに「電子投稿」をクリックする。画面1が表示されるので注意事項をよく読み、会員番号欄に講演者の会員番号を、生年月日欄に生年月日を入力し「次へ」ボタンをクリックします。正しく認証されると画面2が表示されます。
- (3) 画面2では、講演者欄を入力します。会員種別は▼マークをクリックして現れるリストから選択します。所属機関は次の場合を除いて省略しないで下さい。また、所属が英字形だけの場合は英文欄のみ入力して下さい。

①「株式会社」「財団法人」「Limited」等は記入しない。

②略称の方がよく知られている場合(JR, NTT等)は、略称の形を用いてもよい。

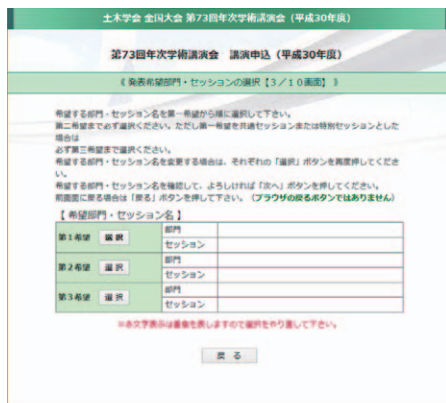
昨年度より講演概要集はDVD形式とWEBからのダウンロード形式が選択可能となります。「講演概要集の形式」欄でDVD版又はWEB版の一方を選択してください。

パスワード入力欄(画面の下)では、半角英数字8文字固定で入力します。後の論文ファイル参照時と確認・修正期間

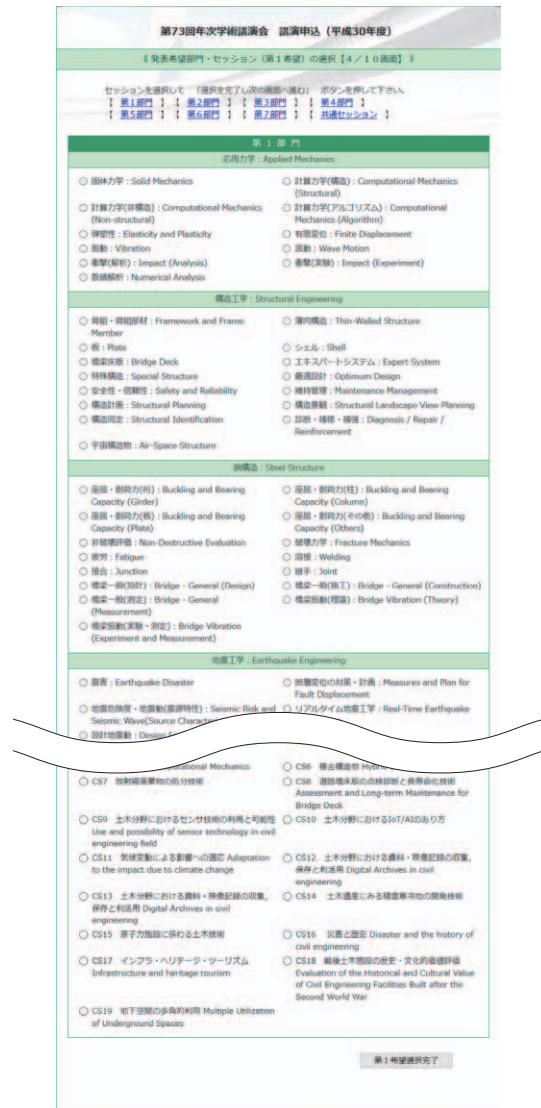
<画面1>



<画面 2>



<画面 3>



<画面 4>

の認証や、事務局への連絡の際に必要なので、忘れないようにして下さい。正しく入力できたことを確かめ「次へ」ボタンをクリックして下さい。

- (4) 次に画面3では、発表希望セッションの第1志望を選択します。選択ボタンをクリックすると、画面4が表示されますので希望セッション名の前にある○印をクリックし、それが●に変わったことを確認してから希望部門下部の「第1希望（または第2希望、第3希望）選択完了」ボタンをクリックして下さい。
- (5) 画面4では、前の画面で指定した発表希望セッションが表示されます。第2志望、第3志望のセッションを指定する場合は各希望の「選択」ボタンをクリックして下さい。後は(4)での作業と同じです。共通セッションを第1志望にした場合、必ず一般セッションから第2志望、第3志望を指定してください。
- (6) 画面5では、題目、概要、キーワードを入力します。まず、原稿の言語、講演の言語の種別を選択します。次に題目を入力します。主題の他に副題もある場合は、それも入力して下さい。文字数は、和文全角100字以内、英文半角200字以内です。また、

一連の研究の何編かに分けて発表する場合は、それぞれが1編ごとに独立した内容でなければ講演できません。この場合、副題を「その1」「その2」等とだけ付けて講演題目とすることは避けて下さい。

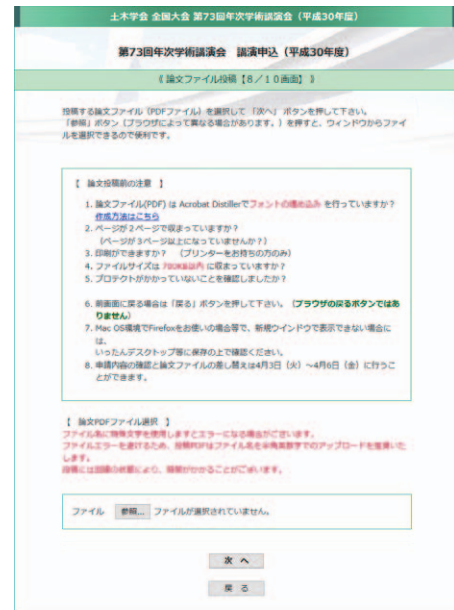
- 題目は必ず論文ファイルの題目と一致させてください。和文概要は、社会に対する役割を踏まえて、研究の目的、要旨（特色）、結論を300字以内で簡明に記述して下さい。英文概要は空白も含めて半角600字以内で記入して下さい。英文タイトルも必ず記入して下さい。キーワードは単に表題中の語を再録するのではなく、その研究が検索される上で最も効果的と思われるものを和文・英文ともそれぞれ6個以内で記入して下さい。内容を確認したら「次へ」ボタンをクリックして下さい。
- (7) 画面6では、連名者情報、請求書・参加証・DVD送付先、連絡先を入力します。連名者の入力4名まで可能、但し土木学会全国大会ホームページ掲載プログラムと大会当日に配布するプログラム目次には、紙面の都合上、連名者欄上段から2名までしか掲載されません。(DVDおよびWEB概要集とホーム



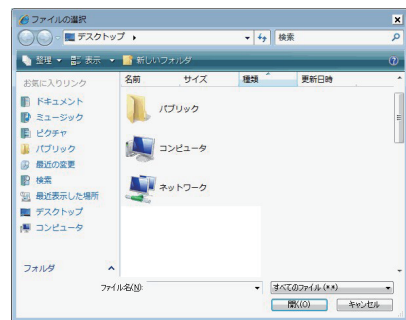
<画面5>



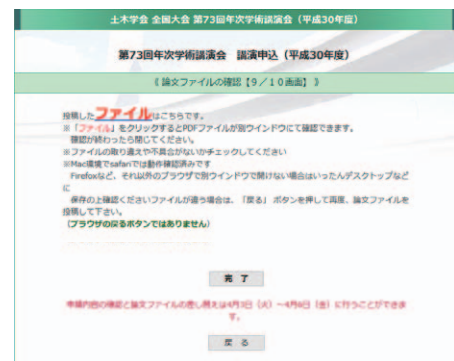
<画面6>



<画面8>



<原稿ファイル参照ダイアログ>



<画面9>

ページに掲載するプログラム目次には、連名者4名まで掲載されます。) 連名者欄の入力方法は(3)を参照して下さい。

参加証・DVD送付先欄には、後日、参加証・DVD(希望者のみ)を送付させて頂くための住所、氏名を入力します。ご希望の送付先、勤務先または自宅を選択して頂きます。自宅を選択された場合は、勤務先名、所属は空欄にして下さい。また、参加証・DVDは8月中旬に発送しますので、この時期に確実に届く住所をご記入下さい。WEBからのダウンロードを希望さ

れた方は、8月中旬にダウンロードに必要なIDとパスワードをご登録のE-mailアドレスに送付いたします。

大会参加費の支払い方法は、郵便振替とクレジットカード決済とコンビニ決済からお選び頂きます。入力が済んだら、「確認画面へ」のボタンをクリックして下さい。

(8) 画面7(画面は省略します)では、今まで入力した内容を一覧表示します。内容に誤りや文字化けなどの破損がないか今一度チェックし、よければ「次へ」ボタンをクリックし、修正する場

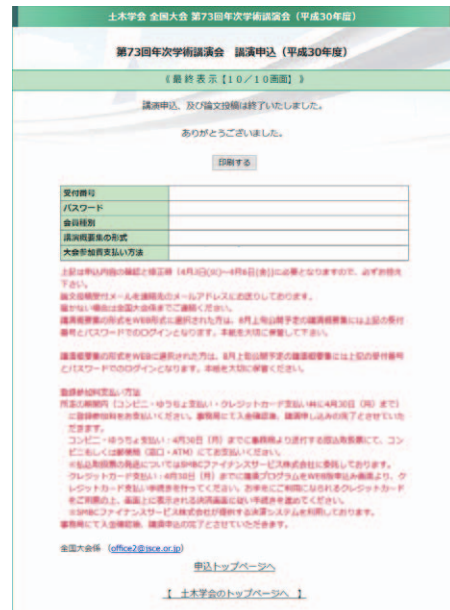
合は、「戻る」ボタンをクリックします。

- (9) 画面8では、論文原稿ファイル(PDF)を投稿します。投稿するPDFファイルは必ず、Acrobat Distillerでフォントの埋め込みを行い、PDFを作成して下さい。ファイルサイズは700KB以内です。

ファイル欄に投稿するファイル名をドライブ名からフルパスで入力します。直接タイプでも可能ですが、「参照」ボタンをクリックしてダイアログから指定した方が確実に簡単です(〈原稿ファイル参照ダイアログ〉を参照)。このとき、画面8の項目「ファイル」には、ドライブ名およびパス(経由するすべてのフォルダ)も指定されていることを確認して下さい。

内容を確認したら「次へ」ボタンをクリックして下さい。これにより、原稿ファイルはシステム側に送信されますが、送信にはファイルサイズや回線の混雑具合から、かなりの時間を要する場合があります。必ず次の画面9が表示されるまで、待機して下さい。

- (10) 画面9では、投稿した論文の確認を行います。システム側が受け取ったファイルサイズを表示しますので、自分が送ったファイルサイズと一致するか確認して下さい。また、変換されたPDFファイルが破損していないか、3ページになっていないか、必ず確認して下さい。ファイルを参照して破損が認められたりした場合には、「戻る」ボタンをクリックし再投稿して下さい。問題がなければ「完了」ボタンをクリックして下さい。
- (11) 画面10で受付番号が採番され、申込・投稿が完了したことになります。ここには、申込確認・修正時に使うパスワードが表示されます。メモをとる、プリントアウトする、ファイルとして保存するなど、何らかの手段で記録して下さい。



<画面10>



<画面11>

## 2. 申込み・投稿内容の確認

申込締切後に、確認・修正期間を設けます。申込・投稿ファイルに破損がないか会員自身でチェックして下さい。極端な場合、システムのトラブルで「申込したこと自体」が失われている場合がありますので、この確認作業は必ず行って下さい。手順は以下の通りです。

- (1) 土木学会全国大会委員会ホームページから「電子投稿内容確認のページ」にアクセスします。URLアドレスは <http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/> です。
- (2) 画面11が表示されますので、注意書を良く読み会員番号欄に会員番号、パスワード欄に、申込の際に登録したパスワードを入力します。「次へ」ボタンをクリックします。

正しく認証されると画面12(画面は省略します)が表示されます。この時点で認証されてない場合には、事務局に連絡して下さい。具体的な連絡先・方法は、土木学会全国大会委員会ホームページに掲載します。

- (3) 画面12(画面は省略します)では、申込みされた内容に破損がないかチェックします。原稿ファイルを参照するには、「投稿

された論文の確認」をクリックします。するとパスワード入力ダイアログが出ますので、ユーザ名に会員番号、パスワードに(2)で入力したパスワードを入力します。

正しく認証されればファイルが参照できます。また、参照するにはAcrobat Readerがインストールされていることが必要です。確認し、よろしければ「終了」ボタンをクリックして下さい。修正する場合には「修正」ボタンをクリックして下さい。原稿ファイルに何らかの破損が見られる場合には、事務局に連絡してください。具体的な連絡先・方法は、土木学会全国大会委員会ホームページに掲載します。

## 3. 登録参加料の支払い

所定の期間内(コンビニ・ゆうちょ支払い・クレジットカード支払い共に4月30日(月)まで)に登録参加料をお支払いください。事務局にて入金確認後、講演申込みの完了とさせていただきます。

## ● 講演原稿執筆要領

本文は、PDFファイルによる電子投稿原稿作成の執筆要領です。WEBでも詳しく案内しています。

<http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/>

### 1. 目的

講演概要集の目的は、聴講者の便宜のため、かつ来場できない会員に講演内容を伝えるために作成します。したがって、聴講者が研究の目的、考え方、手法および結論を理解できるように配慮して下さい。

### 2. データ書式

原稿は、Adobe Acrobatを用いて変換された、PDFファイルで提出して頂きます。ファイルサイズは700KB以内とし、印刷した場合のページ数がA4判タテ型・2ページとなるよう原稿を作成して下さい（厳守です）。これを越えた原稿は受け付けられません。また、投稿するファイルはPDF形式とし、圧縮ツールは使用しないで下さい。

なお、Adobe Reader（アドビシステムズのホームページよりダウンロードできます）を用いて、作成したPDFファイルの原稿が執筆者の意図したとおりに印刷されることを確認して下さい。

PDF化にあたっての解像度の設定は制約を設けません。上記のファイルサイズ以内に納まる限り、執筆者の自由とします。ただ、印刷の場合を考慮すると、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は1200dpi程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像（写真等）の解像度は300dpi程度が目安になります。（Adobe Acrobat Distiller4.0もしくは5.0におけるジョブオプションの「Print Optimized」に相当）

なお、DVD編集の障害となりますので、PDFファイルにパスワードの設定は絶対に行わないで下さい。

### 3. 使用アプリケーション

原稿作成に使用するプラットフォーム／アプリケーションソフトは問いませんが、最終的に投稿するファイルはPDF形式（Version1.3互換）とし、Adobe Acrobat Reader 5.0から9.0で表示／印刷できるものとします。

PDF化にはいくつかの方法がありますが、上記を満足する限り、執筆者の判断で適宜選択して頂いて結構です。

### 4. 用紙設定

A4版・縦（210×297mm）とし、上下余白各18mm、左右余白各15mmを必ず確保して下さい。（上下余白は、柱、ページ記入に必要です。）

### 5. 書式

横書き、48文字／行、42行／ページ程度を標準とします。（2段組でもよい）本文の文字の大きさは10または10.5ポイント程度としフォント、英数字はTime (Times New Roman) / Helvetica / Symbol等を、日本語は明朝、ゴシック等を使用して下さい。

日本語フォントにおけるギリシャ文字（ $\sigma$   $\delta$   $\varepsilon$ 等）の使用は可能ですが、機種／フォントに依存する特殊文字（①、②、I、II、m等）、半角カナおよびHG系のフォントは文字化けの原因となりますので使用しないで下さい。

上記は、異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要です。

### 6. 表現方法

文字色は黒とします。図・表・写真等については色の制約はありませんが、白黒モニタ／プリンタに出力した際に問題が生じないように配慮して下さい。

なお、原稿の中に関連するホームページへのリンクを作成しても構いません。

### 7. 書き出し

原稿の1ページ目には、題目・勤務先・会員種別・氏名・本文の順に書いて下さい。

題名は第1行の中央に配置し、左側は後からの講演番号記入用にマージンから20mm程度開けるようにしてください。次に1行あけて、勤務先・会員種別・講演者名（連名の場合は登壇者（前に○印を記入）、連名者の順）を右側に寄せて書き、1行あけて本文を書き出して下さい。

### 8. キーワード・連絡先

1ページ目最下段に罫線を入れ、キーワード（6語まで）および連絡先を記述して下さい。

### 9. 図・表・写真

図・表・写真等は原稿に張付けた状態でPDF化することとし、別ファイルにしないで下さい。

### 10. 原稿の取扱い

原稿ファイルは電子申込み時に同時に送信することになります。

ただし、何らかのトラブルで印刷原稿を再送していただく必要が生じる可能性がありますので、原稿ファイルは削除しないで保存しておいて下さい。

なお、登載された原稿は返却いたしません。

### 11. 原稿受付期間

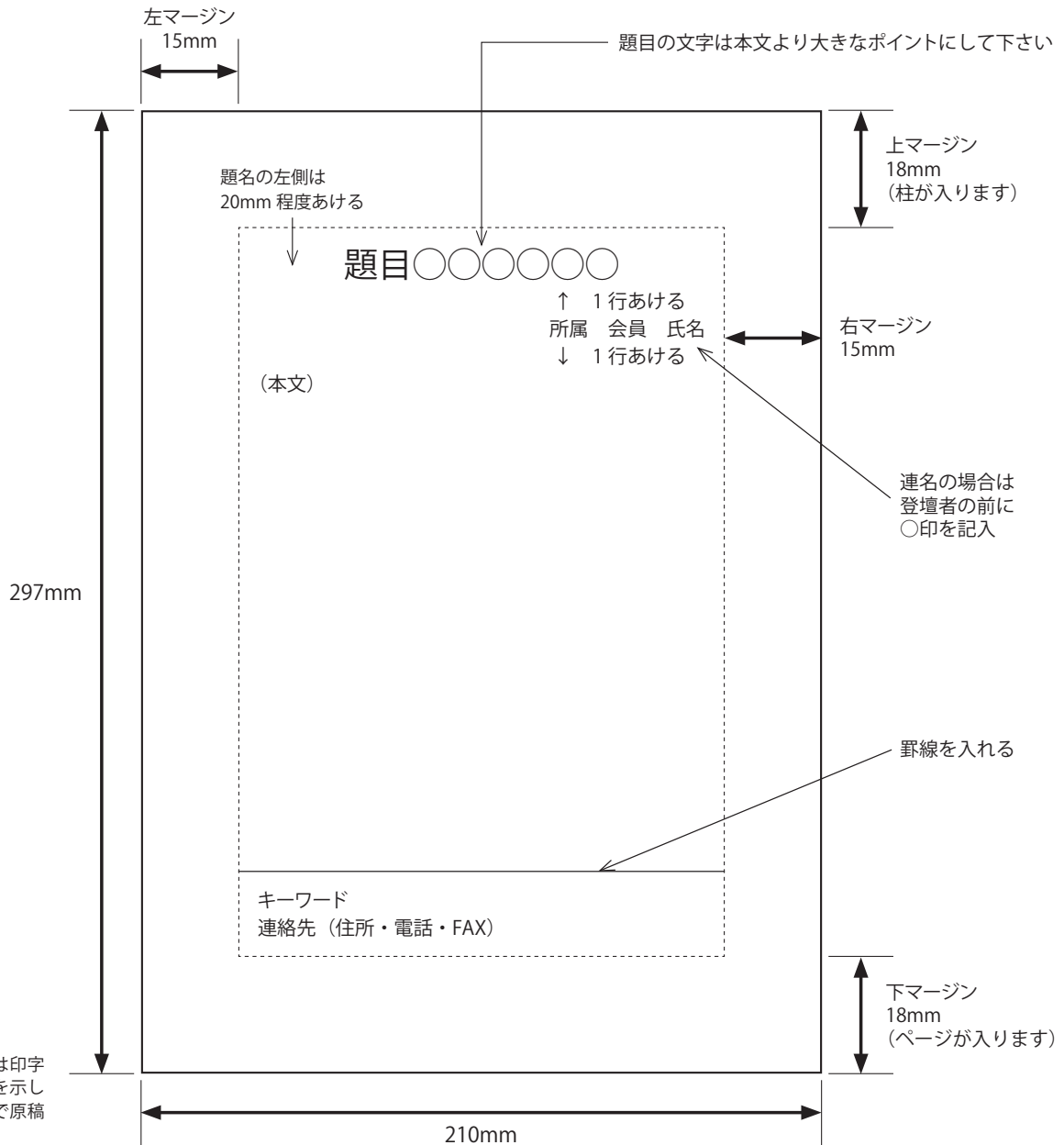
受付期間：2018年3月1日（木）12時～4月2日（月）17時  
 提出先：土木学会ホームページの年次学術講演会電子申込み  
 ページ：<http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/>  
 ※電子受付の場合、締切直前はサーバが大変混雑することが予想されるため、できるだけ早めの申込みをお願いします。

**13. 問合せ先**  
 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内  
 公益社団法人 土木学会 全国大会係宛  
 TEL 03-3355-3442 FAX 03-5379-0125  
 E-mail：office2@jsce.or.jp

**12. 採否**  
 採否は全国大会委員会にご一任下さい。

**14. 参考ホームページ**  
 ・アドビシステムズ：<http://www.adobe.co.jp/>

**原稿の書式（1 ページ目）**



注) 点線の囲み枠は印字  
 いただく範囲を示し  
 たものですので原稿  
 には不要です。